

配線用ノックアウト(直径22mm)
呼び寸法16コネクタ適合

見下図

前面(カバーあり)

側面図

前面(カバー無し)

単位 : mm

見上図

本仕様書の図面は全てXP×3、TVMモジュール×6、LPまたは4Aモジュール×6を使用した場合のものとしてします。
モジュールの数量・内容によって細部が異なります。

機能概要

LCP128は最大128回路の調光システムです。LCP128を構成するLCP調光器は、4回路一体となったLP/4A/XPの各モジュールを自由に組み合わせ、一般的な光源を一括コントロールできます。本体内部に付属のLCPコントローラにて、アドレス設定、負荷設定、シーン設定、タイマー設定、補助コントロール機能設定などが行えます。

- LPモジュール - 白熱灯、電磁トランス付ローボルト(100V出力)
1回路合計最大1600W、モジュール(4回路)合計1600W
- 4Aモジュール - 白熱灯(100V出力)、電子トランス付ローボルト
1回路合計最大1000W、モジュール(4回路)合計1600W(マッチングテスト必須)
- 位相制御LED器具の場合
1回路合計最大800VA、モジュール(4回路)合計800VA(マッチングテスト必須)
- XPモジュール - オンオフ負荷(100~200V出力)
1回路合計最大16A、モジュール(4回路)合計64A
- XP+PWM250 - PWM制御LED/蛍光灯調光器具
1回路合計最大16A(AC100/200V出力)
信号定格出力 250mA
信号規格 13V 1kHz DUTY制御信号
1面あたり合計10台(20回路分)まで
- XP+TVM - 0-10V制御LED器具、DALI制御LED器具(ブロードキャストモードのみ/アドレス制御不可)
1回路合計最大16A(AC100/200V出力)
信号定格出力 50mA
信号規格 12V 500Hz DUTY制御信号
1面あたり合計11台(22回路分)まで

本体には冷却ファンを持たず、自然対流方式により放熱を行うので、低騒音かつメンテナンスが容易です。
*本器は、グラフィックアイQS/4000/Quantum等の他のシステムと組み合わせることは出来ません。

定格・仕様

- 形態 : 鉄製キャビネット入り 壁掛け型
- 外形寸法 : 縦 1510mm、横 403mm、奥行 105mm
(ドア厚込み/取付金具除く)
- 鋼板厚さ : 約1.5mm
- 使用周囲温度範囲 : 0℃~40℃ (一般屋内取付専用)
相対湿度90%以下 (無結露)
- 設置方法 : 壁掛け
- キャビネット色 : 無着色
- 表面カバー : ルートロン標準色 黒色(艶消)
- 回路数 : 16-36回路
- 本体重量 : 最大約37kg
- 最大発熱量 : 最大約185kcal/h
- 適合電線 : 電源・負荷線 VVF-1、6mmまたは2.0mmを推奨
: 弱電線端子 CPEVSO、9mm - 1.2mmを推奨



LCP128システム
ルートロン スタンダードキャビネット仕様

REVISION	1.4
RELEASED	2022/2/25
PAGE	1/8

承認



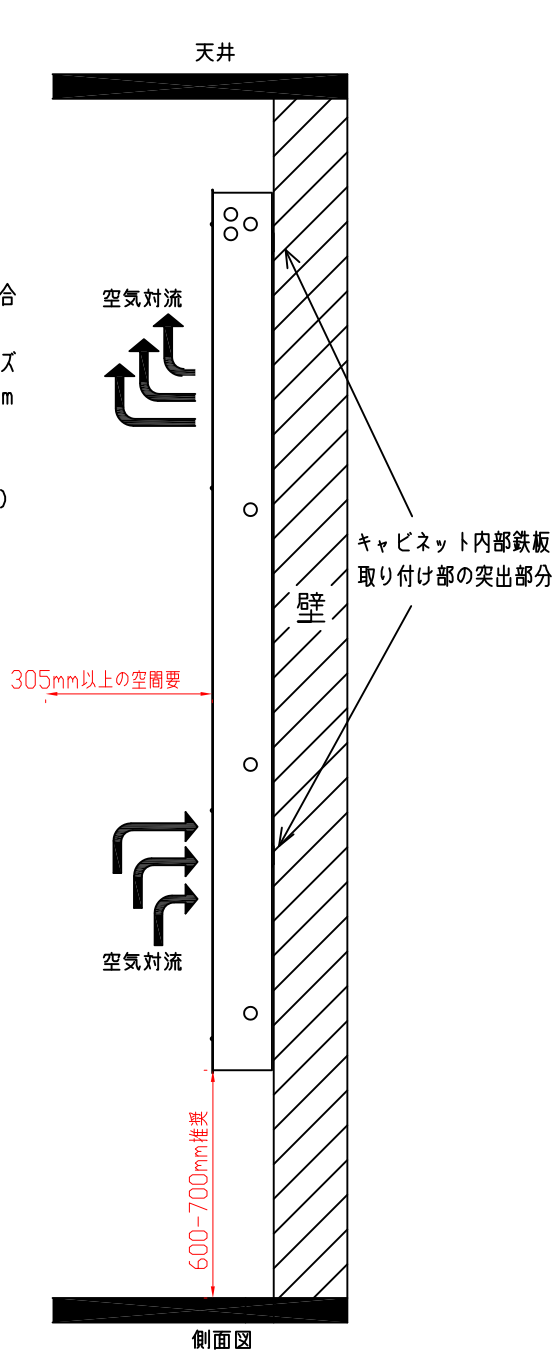
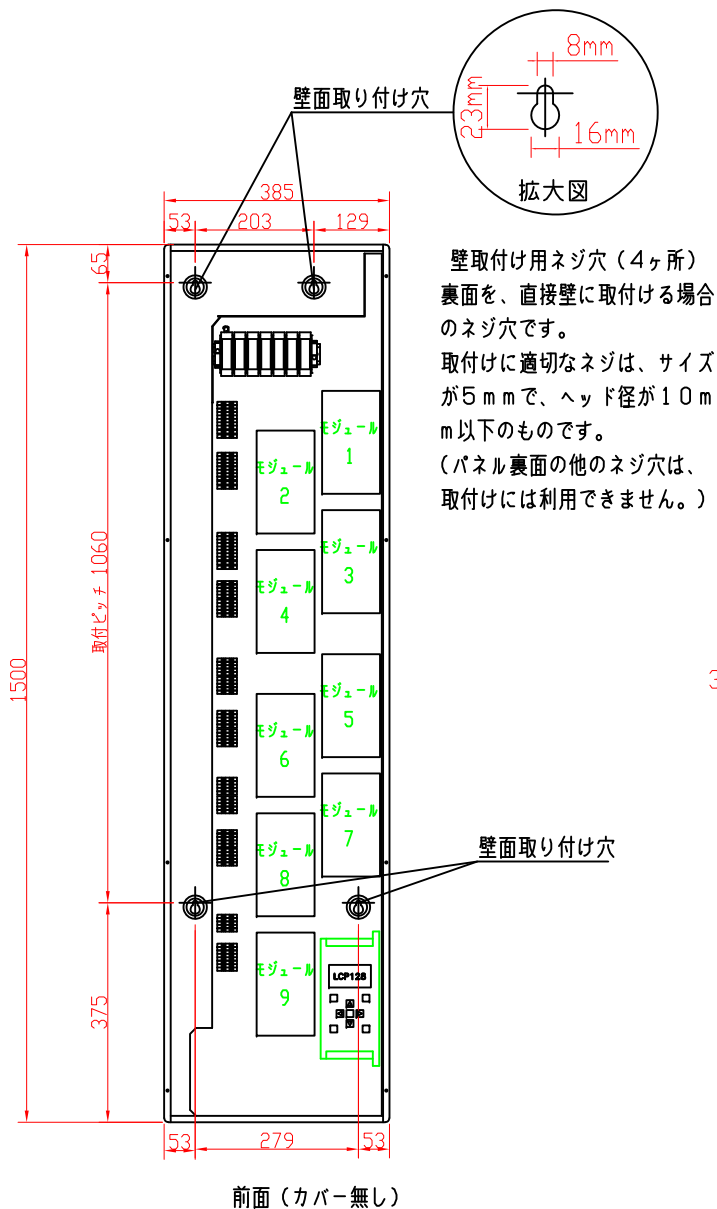
検図



作成



仕様書



取付要領

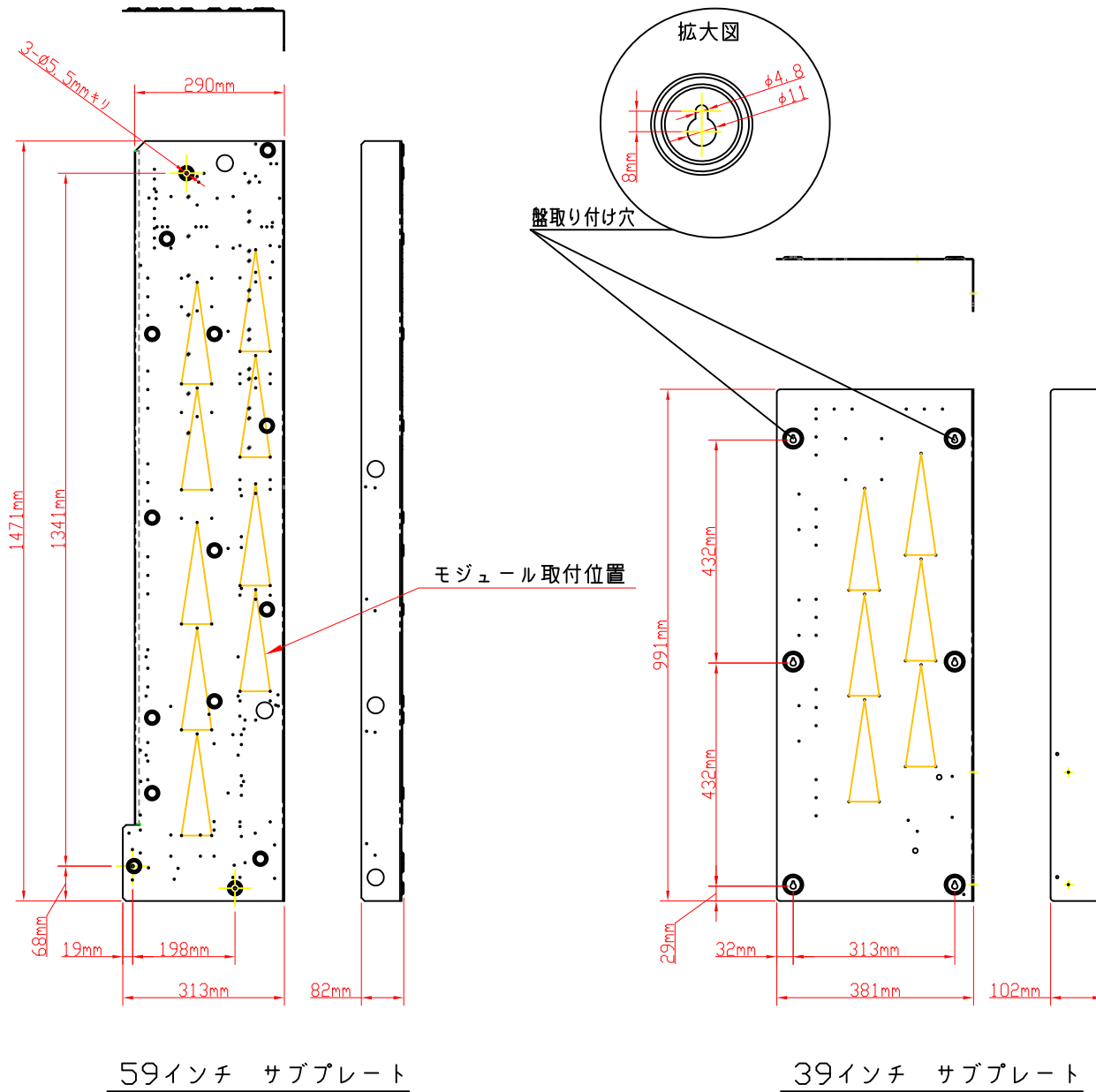
- ※ 本器は壁面取付け専用です。自立設置は出来ません。
- ※ 取付ける壁面が、本器の重量に充分耐えられるかどうか確認してください。
- ※ 取付けボルト推奨サイズは5mmです。
- ※ LCPコントローラの良好な視認・操作の為に、床から本器の下面までの高さを600mm-700mm以上を推奨します。

特記事項

- ※ 一般屋内のみにて設置・使用のこと。
- ※ 周囲温度0-40℃、相対湿度が90%以下(無結露)となるところにのみ取り付けること
- ※ パネルからは多少の熱が発生するため、通風孔をふさがないこと。
- ※ 放熱スペース確保のため、本体前面に305mm以上のスペースを開けること。
- ※ 傾斜角度7度以内に取り付けること。
- ※ 作動中にうなり音や内部のリレー音があるため、多少の音が許容される場所に取り付けること。
- ※ 信号配線は必ず「ひと筆書き」とすること。
- ※ 信号線及び一次側電源、二次電源側負荷線は、別々の配管配線とすること。
- ※ 電源配線が他の電子機器/音響機器、またそれらの配線、スピーカーコードなどと1.8m以上離れるようにすること。
- ※ 天井裏等のメンテナンスに支障をきたす場所への設置は不可。
- ※ 4Aモジュールは安全の為に保護回路を内蔵しており、以下の場合に出力を停止する場合があります。
 1. 負荷側で短絡が検知された場合
 2. 負荷側で過電流が検知された場合
 3. 過電圧が検知された場合
 出力が停止した際は、当該ブレーカーを入り切りすると復旧します。復旧しない場合には販売店にご相談ください。
- ※ 設置後、必ずバイパス状態にて出力ごとの負荷電流を測定し、負荷電流が出力・モジュールの容量を超えていないことを確認して下さい。超えている場合は負荷を減らして下さい(調光をかけることで過負荷状態の解消はできません)。
過負荷状態での動作は、寿命の著しい低下・異常発熱・発煙・発火等を引き起こし、大変危険です。

単位 : mm

 ルートロン アスカ株式会社			LCP128システム		REVISION	1.4	
			ルートロン スタンダードキャビネット仕様		RELEASED	2022/2/25	
承認	谷崎	検図	石黒	作成	足立	PAGE	2/8
取付図							



取付要領

- ※ 本器はサブプレートです。盤に組み込んで使用してください。
- ※ 本器の重量に充分耐えられるかどうか確認してください。
- ※ 取り付けボルト推奨サイズは4mmです。

特記事項

- ※ 一般屋内のみにて設置・使用のこと。
- ※ 周囲温度0-40℃、相対湿度が90%以下（無結露）となるところにのみ取り付けること
- ※ パネルからは多少の熱が発生するため、通風孔を設けること。
- ※ 放熱スペース確保のため、本体前面に305mm以上のスペースを開けること。
- ※ 傾斜角度7度以内にに取り付けること。
- ※ 作動中にうなり音や内部のリレー音があるため、多少の音が許容される場所に取り付けること。
- ※ 信号配線は必ず「ひと筆書き」とすること。
- ※ 信号線及び一次側電源、二次電源側負荷線は、別々の配管配線とすること。
- ※ 電源配線が他の電子機器/音響機器、またそれらの配線、スピーカーコードなどと1.8m以上離れるようにすること。
- ※ 4Aモジュールは安全の為に保護回路を内蔵しており、以下の場合に出力を停止する場合があります。
 1. 負荷側で短絡が検知された場合
 2. 負荷側で過電流が検知された場合
 3. 過電圧が検知された場合
 出力が停止した際は、当該ブレーカーを入り切りすると復旧します。復旧しない場合には販売店にご相談ください。

仕様

- 59インチ サブプレート - モジュール搭載数7-9台。
但し、TVMモジュールまたはPWM250モジュールが搭載される場合のモジュール搭載数は最大8台となります。
- 39インチ サブプレート - モジュール搭載数4-6台。
但し、TVMモジュールまたはPWM250モジュールが搭載される場合はモジュール数が1-3台も39インチサブプレートになります。



LCP128システム
ルートロン スタンダードキャビネット仕様

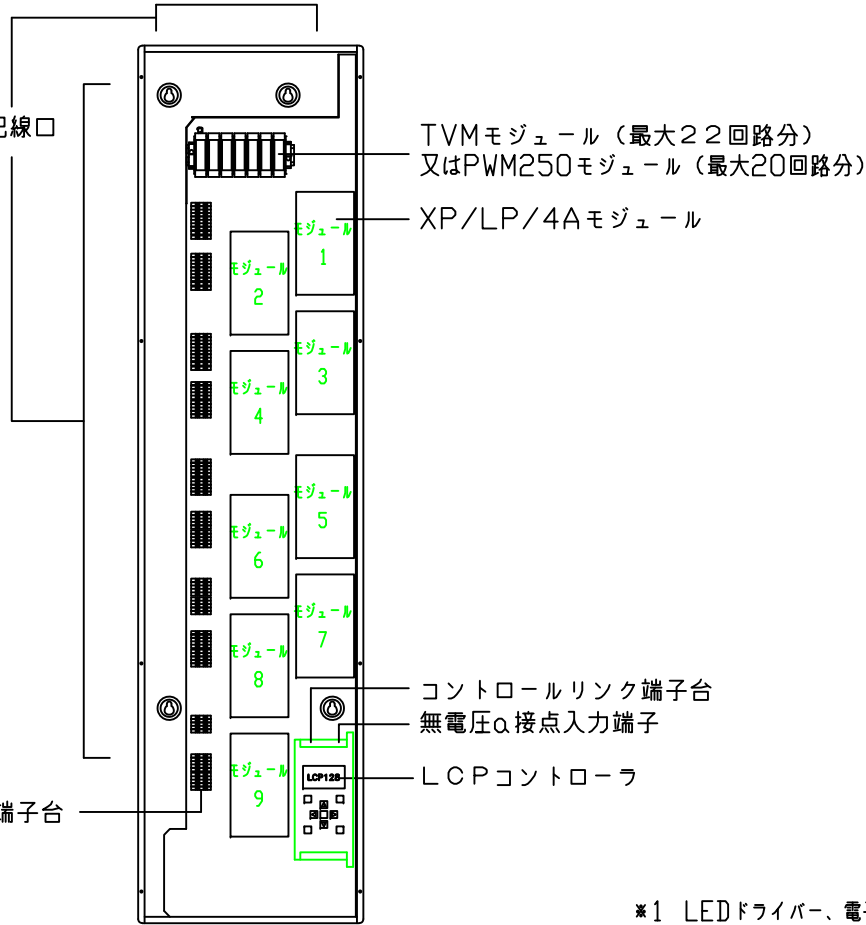
REVISION	1.4
RELEASED	2022/2/25
PAGE	3/8

承認	検図	作成
谷崎	石黒	足立

サブプレート外形寸法及び取付寸法

内部図

電源線および負荷配線口
(推奨位置)



電源・負荷端子台

電源線および負荷配線口
(推奨位置)

モジュールと端子台の関係について

各モジュールが混在する場合、1から順に、XPジュール、LPジュール、4Aジュールの順で取り付けられます。また、モジュールの組み合わせによって端子台の数量・取付状態が変わります。

適合負荷

	XPモジュール	LPモジュール	4Aモジュール
白熱灯	○	◎	◎
電磁トランス付ローボルト	○	◎	◎
電子トランス付ローボルト	○	×	◎ *1
位相制御LED器具	○	×	◎ *1
PWM制御LED・蛍光灯器具	◎ *2*3*4 TVMモジュールまたは PWM250モジュール要	×	×
0-10V制御LED・蛍光灯器具	◎ *3*5 TVMモジュール	×	×
DALI制御LED器具(ブロードキャストのみ)	◎ *3*5	×	×
オンオフ器具	○	×	×

◎ 調光できます ○ 使用できます(非調光) × 使用できません

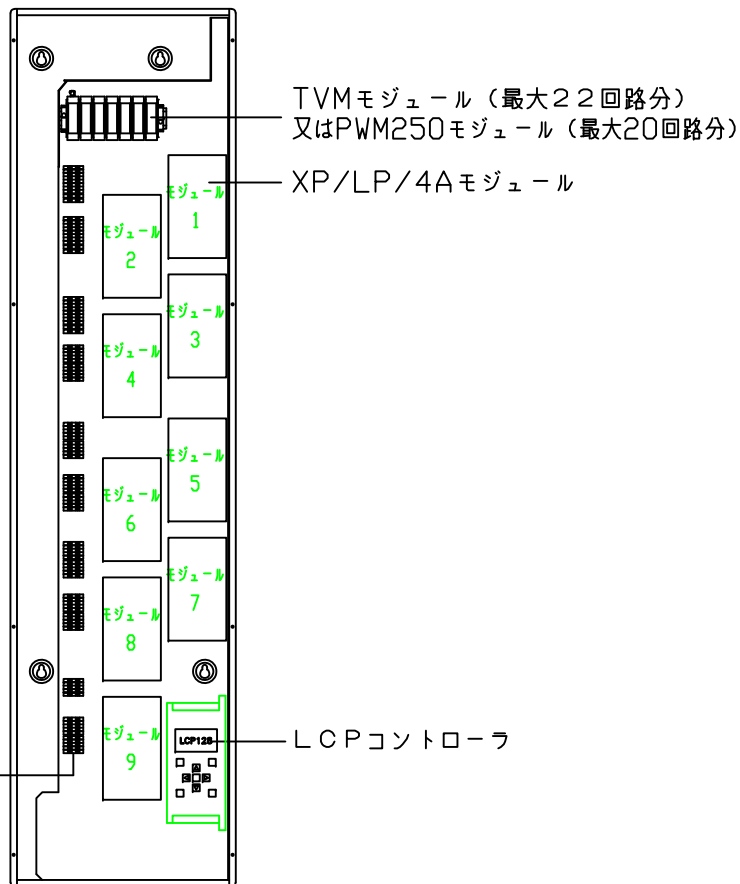
モジュール性能・機能 一覧表

	XPモジュール	LPモジュール	4Aモジュール
1回路最大負荷容量*6	16A	1600W	1000W 位相制御LED 800VA
1モジュール(4回路)合計最大負荷容量	64A	1600W	1600W 位相制御LED 800VA
1回路最低負荷容量	なし	40W	25W
対応電圧(100V必須)	100/200V	100V	100V
バイパスジャンパー数 1モジュールあたり	4	1	1
推奨分岐ブレーカーサイズ	20A / 最大負荷容量16A以下 15A / 最大負荷容量12A以下		

- *1 LEDドライバー、電子トランスと弊社モジュールのマッチングテストが必須です。マッチングしないLEDドライバー、電子トランスを使用した場合、不点、ちらつき、器具故障の原因となります。
- *2 オプションのTVMモジュールまたはPWM250モジュールを選択した場合は調光可能です。それ以外はオン・オフ制御のみとなります。調光する場合は、調光安定器とのマッチングテストが必須となります。マッチングしない安定器を使用した場合、不点、ちらつき、器具故障の原因となります。
- *3 TVMモジュールの最大設置可能台数は本器1台あたり最大11台(22回路分)、PWM250モジュールの最大設置可能台数は本器1台あたり最大10台(20回路分)となります。
- *4 PWM制御のLED/蛍光灯器具類は下限付近の低い照度状態に変える際、特性により照度変化に段差が生じる場合があります。
- *5 オプションのTVMモジュールを選択した場合は調光可能です。調光する場合は、調光安定器とのマッチングテストが必須となります。マッチングしない安定器を使用した場合、不点、ちらつき、器具故障の原因となります。詳細は弊社までお問い合わせ下さい。DALI信号出力の場合、アドレス制御はできません。
- *6 設置後、必ずバイパス状態にて出力ごとの負荷電流を測定し、負荷電流が出力モジュールの容量を超えていないことを確認して下さい。超えている場合は負荷を減らして下さい(調光をかけることで過負荷状態の解消はできません)。過負荷状態での動作は、寿命の著しい低下・異常発熱・発煙・発火等を引き起こし、大変危険です。

承認	 ルートロン アスカ株式会社	LCP128システム ルートロン スタンダードキャビネット仕様	REVISION	1.4
			RELEASED	2022/2/25
			PAGE	4/8
谷崎	検図 石黒	作成 足立	内部構成 仕様書	

型番を作成



電源・負荷端子台

TVMモジュール（最大22回路分）
又はPWM250モジュール（最大20回路分）

XP/LP/4Aモジュール

LCPコントローラ

CCP-xXxLxAxP-100FT- -LCP-CGP 1872

①

②

③

- ① XはXP、LはLP、Aは4A、TはTVM、PはPWM250を示します。それぞれ、xにモジュールの個数を入力します。
- ② ルートロン標準キャビネットの場合は「E」を、サブプレートの場合は「S」を入力します。
(標準キャビネット、サブプレートどちらを選択しても価格は変わりません。)
- ③ 8回路ミニパネルにTVM/PWMを取付ける場合の末尾はCGP2321。
PWM信号出力数18~20の場合、末尾はCGP2882。
上記以外の末尾はCGP1872

例1) CCP-4X2L1A6T-100FT-E-LCP-CGP1872
XP×4、LP×2、4A×1、TVM×6、ルートロン標準キャビネット、LCPコントローラ搭載


例2) CCP-4X4A8P-100FT-S-LCP-CGP1872
XP×4、LP×2、4A×1、TVM×6、サブプレート仕様、LCPコントローラ搭載

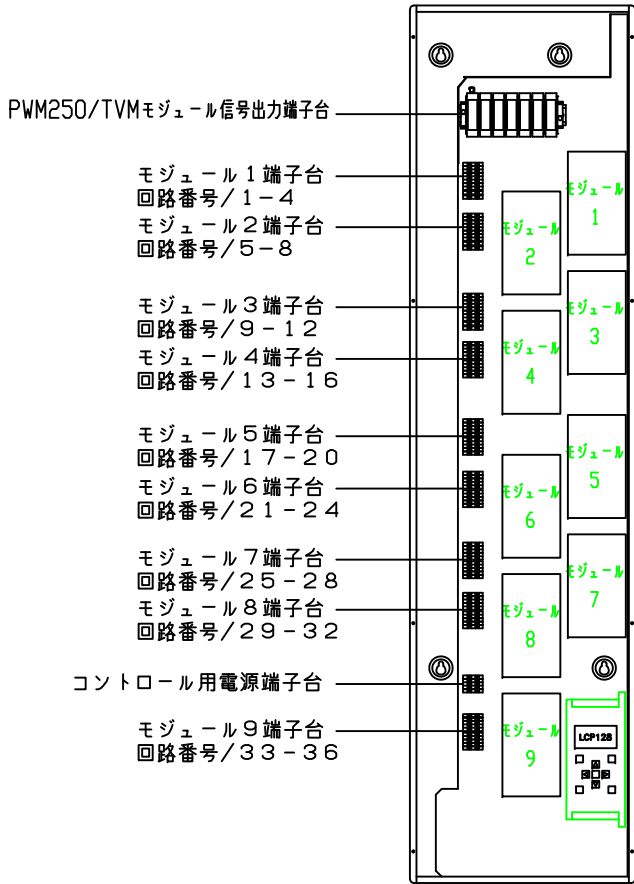
例3) CCP-6X1A10P-100FT-E-LCP-CGP2882
XP×6、4A×1、PWM250×10、ルートロン標準キャビネット(CGP2882)、LCPコントローラ搭載

例4) CCP-2X4P-100FT-E-LCP-CGP2321
XP×2、PWM250×4、ルートロン標準キャビネット(CGP2321)、LCPコントローラ搭載

モジュールと端子台の関係について

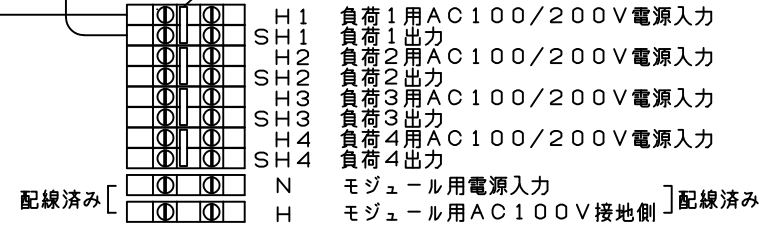
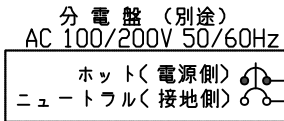
各モジュールが混在する場合、1から順に、XPジュール、LPモジュール、4Aモジュールの順で取り付けられます。また、モジュールの組み合わせによって端子台の数量・取付状態が変わります。

 ルートロン アスカ株式会社		LCP128システム ルートロン スタンダードキャビネット仕様		REVISION	1.4
				RELEASED	2022/2/25
		PAGE	5/8		
承認	(谷崎)	検図	(石黒)	作成	(足立)
型番作成方法					



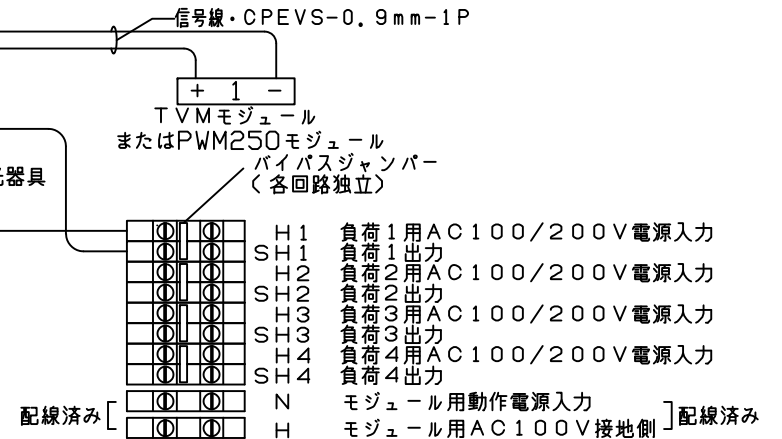
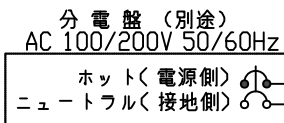
XPモジュール

1回路につき1つの電源を供給します。
100/200Vに対応します。



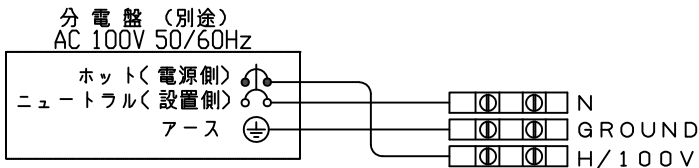
XPモジュール+TVMモジュール

1回路につき1つの電源を供給します。
100/200Vに対応します。



コントロール用電源端子台

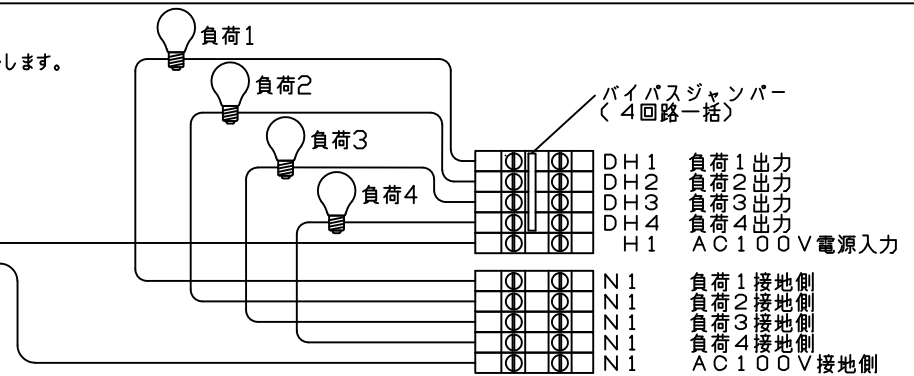
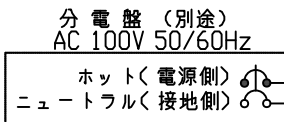
サーキットセレクター、XPモジュール動作、TVMモジュール等への電源を供給します。
100V専用です。



- ※電源・負荷配線VVF-1, 6mmまたは2, 0mmを推奨。
- ※電源配線は、他の電子機器/音響機器、またそれらの配線、スピーカーコードなどと1.8m以上離してください。
- ※施工は、必ずバイパスジャンパーをはめた状態でおこなってください。モジュールを通さず直点灯状態になります。バイパスジャンパーを取り外した状態で短絡・過負荷等があった場合モジュールが故障します。
- ※ニュートラル共通は禁止です。
- ※各モジュールごとに独立した電源(分岐ブレーカー)を使用してください。

LP/4Aモジュール

1モジュール(4回路)につき1つの電源を供給します。
100V専用です。



接地側の番号はモジュールの組み合わせにより変わります。



LCP128システム
ルートロン スタンダードキャビネット仕様

REVISION	1.4
RELEASED	2022/2/25
PAGE	6/8

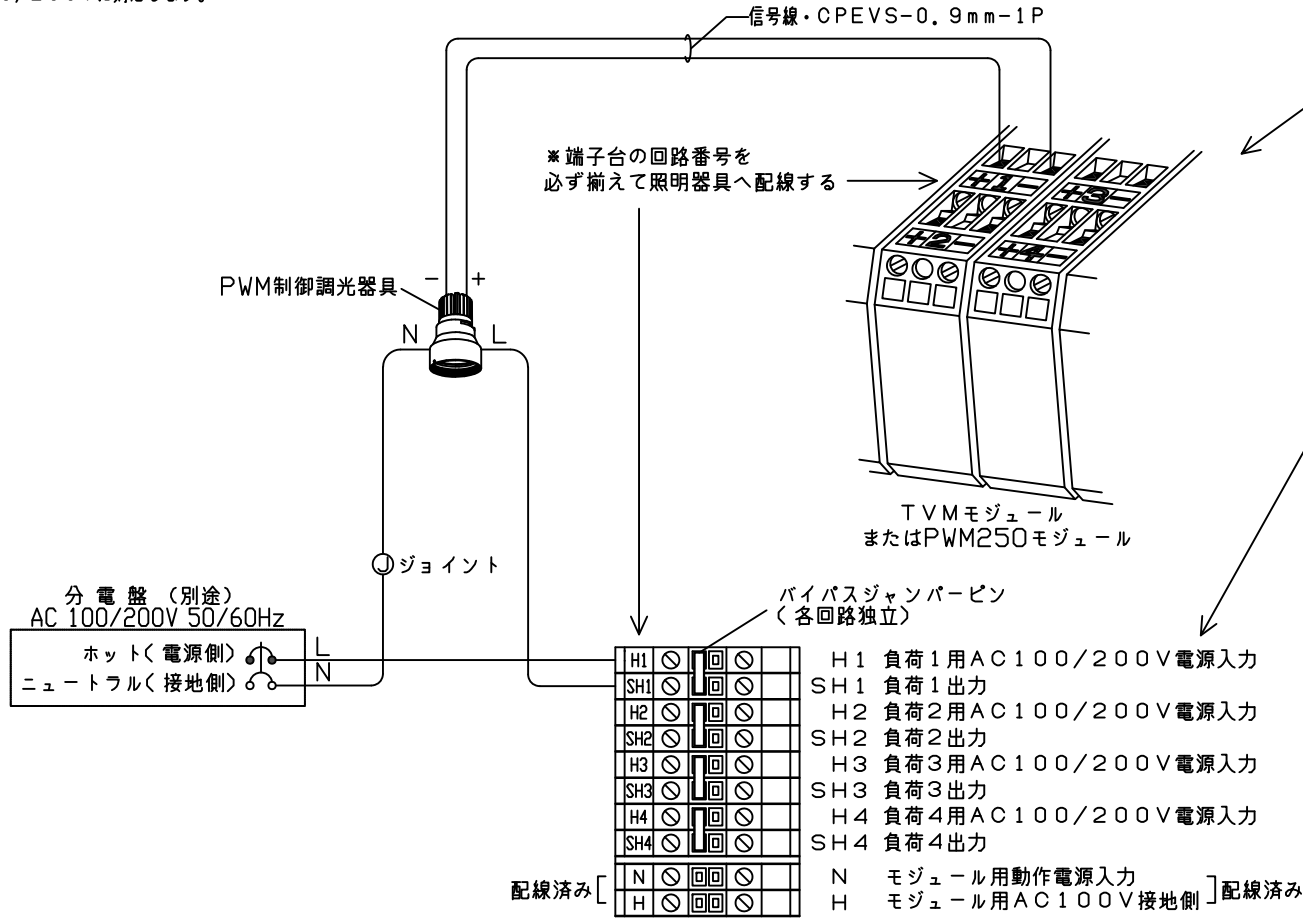
承認	谷崎	検図	石黒	作成	足立
----	----	----	----	----	----

強電 配線図

結線図

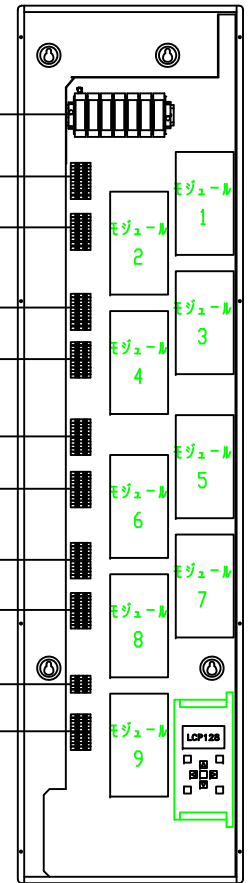
XP モジュール+PWM250/TVM モジュール

1回路につき1つの電源を供給します。
100/200Vに対応します。



PWM250/TVMモジュール信号出力端子台

- モジュール1端子台
回路番号/1-4
- モジュール2端子台
回路番号/5-8
- モジュール3端子台
回路番号/9-12
- モジュール4端子台
回路番号/13-16
- モジュール5端子台
回路番号/17-20
- モジュール6端子台
回路番号/21-24
- モジュール7端子台
回路番号/25-28
- モジュール8端子台
回路番号/29-32
- コントロール用電源端子台
- モジュール9端子台
回路番号/33-36

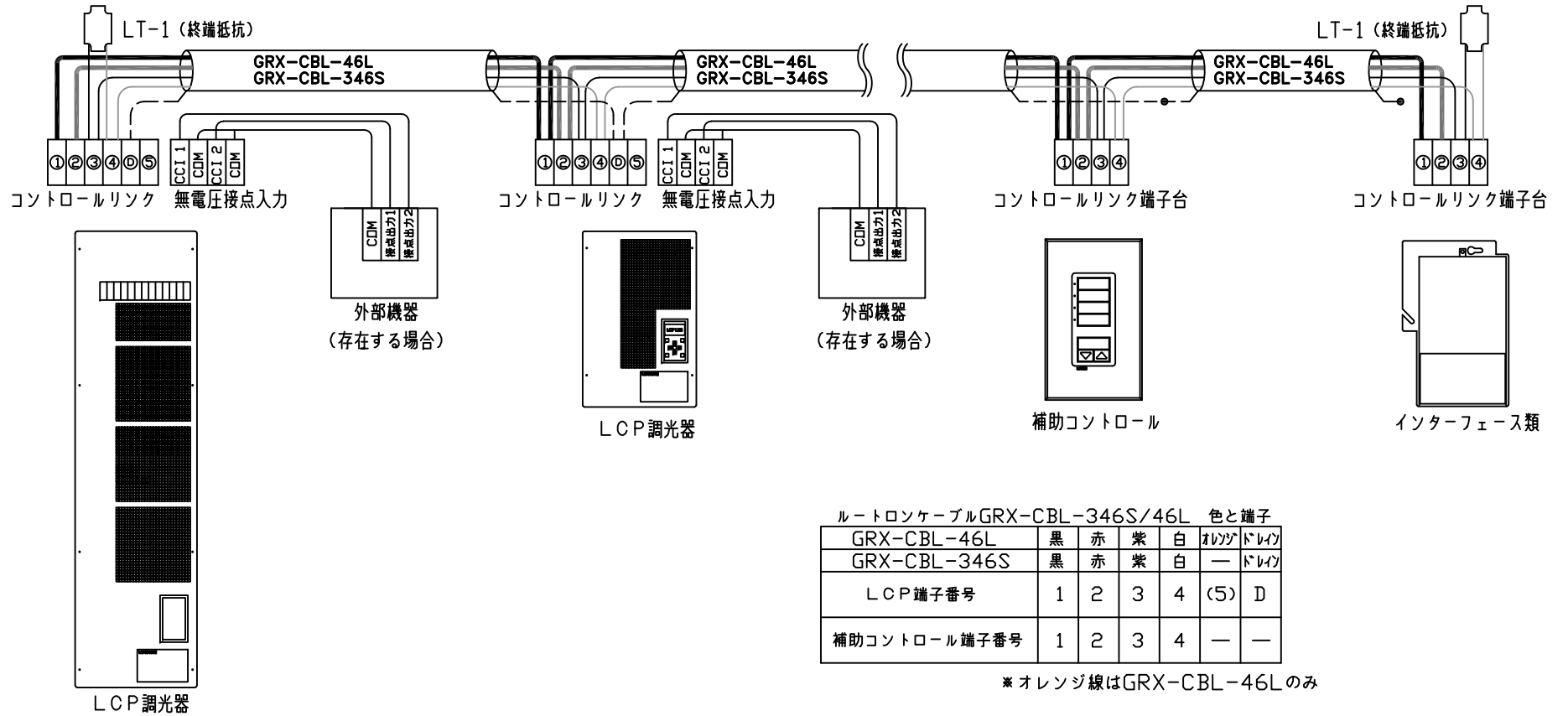


モジュールと端子台の関係について
各モジュールが混在する場合、1から順に、XPジュール、LPモジュール、4Aモジュールの順で取り付けられます。また、モジュールの組み合わせによって端子台の数量・取付状態が変わります。

- ※電源・負荷配線VVF1.6mmまたは-2.0mmを推奨。
- ※電源配線は、他の電子機器/音響機器、またそれらの配線、スピーカーコードなどと1.8m以上離してください。
- ※施工は、必ずバイパスジャンパーをはめた状態でおこなってください。モジュールを通さず直点灯状態になります。バイパスジャンパーを取り外した状態で短絡・過負荷等があった場合モジュールが故障します。
- ※各モジュールごとに独立した電源(分岐ブレーカー)を使用してください。ニュートラル共通は禁止です。

LUTRON ルートロン アスカ株式会社			LCP128システム		REVISION	1.4	
			ルートロン スタンダードキャビネット仕様		RELEASED	2022/2/25	
承認	谷崎	検図	石黒	作成	足立	PAGE	7/8
XPモジュール+PWM250/TVMモジュール 結線方法							

コントロールリンク
弱電線配線図



ルートロケケーブルGRX-CBL-346S/46L 色と端子

GRX-CBL-46L	黒	赤	紫	白	オレンジ	ドレイン
GRX-CBL-346S	黒	赤	紫	白	—	ドレイン
LCP端子番号	1	2	3	4	(5)	D
補助コントロール端子番号	1	2	3	4	—	—

※オレンジ線はGRX-CBL-46Lのみ

- (1) ここでは弱電のコントロール配線の代表的な配線例を示しています。本システム全体でLCP調光器は合計最大8台まで、補助コントロールは最大32台まで接続できます。信号線の最大延長はシステム全体で600m (GRX-CBL-46L使用時)、または150m (GRX-CBL-346S使用時) となります。
- (2) ルートロケケーブル、GRX-CBL-46Lは5芯、GRX-CBL-346Sは4芯です。各端子には、
1:黒 2:赤 3:紫 4:白 (5:オレンジ) D:ドレイン(裸線)の順で使ってください。
1・2番はDC24Vの電源線、3・4番は信号線となっております。また、システム内にAC/DC電源のLCP調光器がない限り、5:オレンジの線は使用しません。なお、調光器の(D)番端子に必ずこのドレインワイヤを接続して下さい。ドレイン線はアースと接続しないでください。

- (4) AC/DC電源(非常用電源)のLCP調光器がシステム内にある場合は、オレンジ線を全てのLCP盤の5番端子に接続してください。
- (5) ケーブルの結線は、本図の様に全システムを送り配線(一筆書き)とし、もし途中で分岐する場合は、本線から2.4mまでとしてください。
- (6) これらの信号線は、100Vや200Vの電源ライン及び100V調光出力線と同じ配管、ケーブルラック内に引き回さないようにしてください。もし、同一とすると調光信号が正しく送られず誤動作の原因となる場合があります。

<p>LUTRON ルートロン アスカ株式会社</p>		LCP128システム		REVISION	1.4	
				RELEASED	2022/2/25	
承認		検図		作成		
弱電信号線 配線図					PAGE	8/8